

どこでも写真管理 Plus⁺

Android 版

どこでも写真管理 Plus

出来形計測 操作手順書

USB 接続

EX-TREND武蔵の出来形管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、計測値を入力しながら出来形写真を撮影する操作を説明します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
ご了承ください。

※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。

注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- ・黒板総数：200枚以下
- ・撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

目次

Android版 どこでも写真管理Plus 出来形計測 操作手順書 USB接続

1. どこでも写真管理Plusについて _____	1
どこでも写真管理Plusの概要 _____	1
出来形・写真データを転送する方法 _____	2
2. 出来形管理で工種分類を作成する _____	3
工種分類を作成する _____	3
3. 工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送する _	6
工事データを作成する _____	6
工種分類データを転送する _____	7
4. どこでも写真管理Plusで出来形データを入力する __	12
工種分類データを取り込む _____	12
実測値を入力する _____	15
出来形写真を撮影する _____	16
5. 出来形データを出来形管理に取り込む _____	20
出来形データを出力する _____	20
出来形データを取り込む _____	22
6. 出来形写真を写真管理に取り込む _____	25
写真を取り込む _____	25

1

どこでも写真管理 Plus について

どこでも写真管理Plusについて解説します。

どこでも写真管理Plusの概要

EX-TREND武蔵 出来形管理、スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

どこでも写真管理Plusとは、電子小黑板機能付き工事写真撮影アプリです。

また、出来形計測値を直接入力することもできます。

※クラウド連携を使用する場合は「CIMPHONY Plus」または「RICOH Drive」の契約が必要です。



写真管理・出来形管理

EX-TREND武蔵 出来形管理で作成した工種分類データ（測定項目・測点・設計値・規格値）をスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に取り込み、実測値を入力しながら出来形写真を撮影します。

実測値、撮影した出来形写真をEX-TREND武蔵 出来形管理、写真管理に送信します。

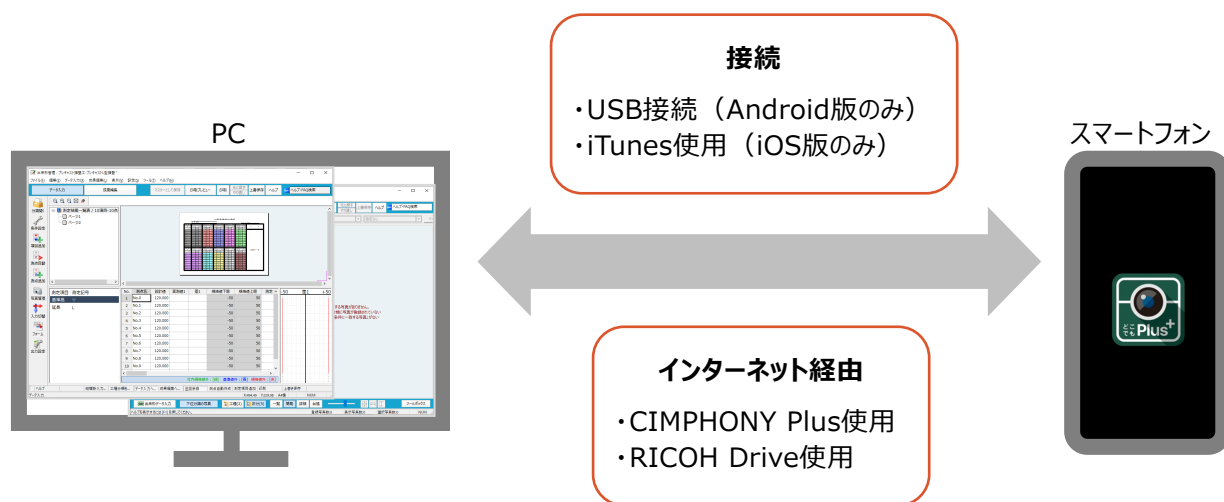
スマホアプリ 「どこでも写真管理 Plus」

出来形・写真データを転送する方法

PCとスマートフォンで出来形や写真データを転送する方法は4通りあります。

- ・USBで接続する（Android版のみ）
- ・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・RICOH Driveを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY Plusを使用する、RICOH Driveを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも出来形や写真データを転送できます。



2

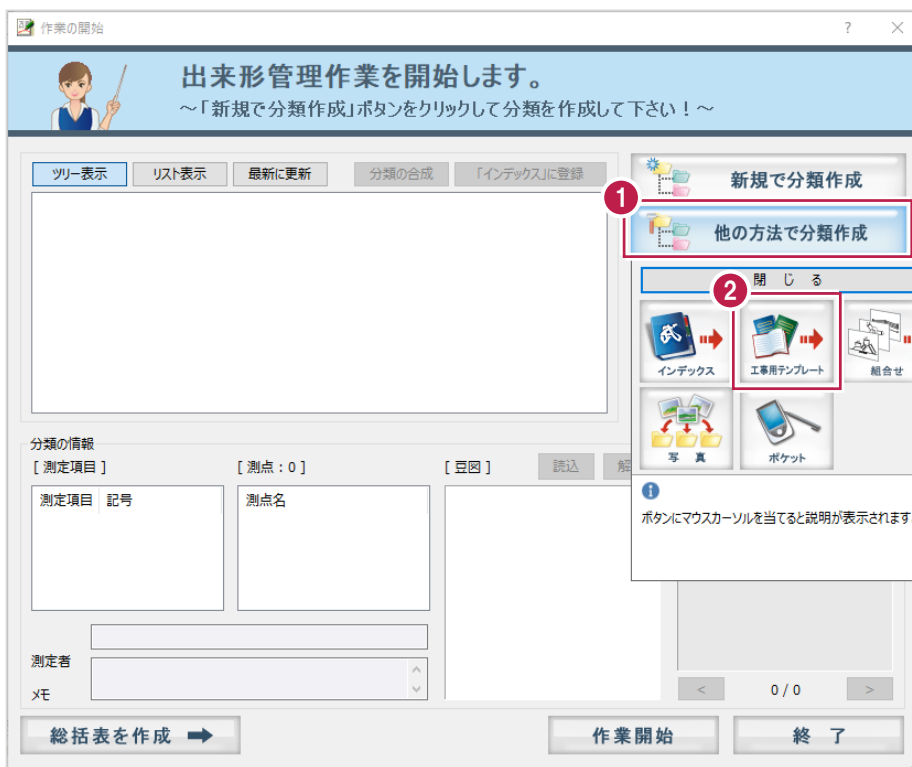
出来形管理で工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 出来形管理で工種分類を作成します。

工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 出来形管理で工種分類を作成して、測定項目・測点・設計値・規格値を設定します。
ここでは、工事テンプレートから分類を読み込みます。

1. 出来形管理の作業の開始ダイアログで [他の方法で分類作成] をクリックします。
2. [工事用テンプレート] をクリックします。

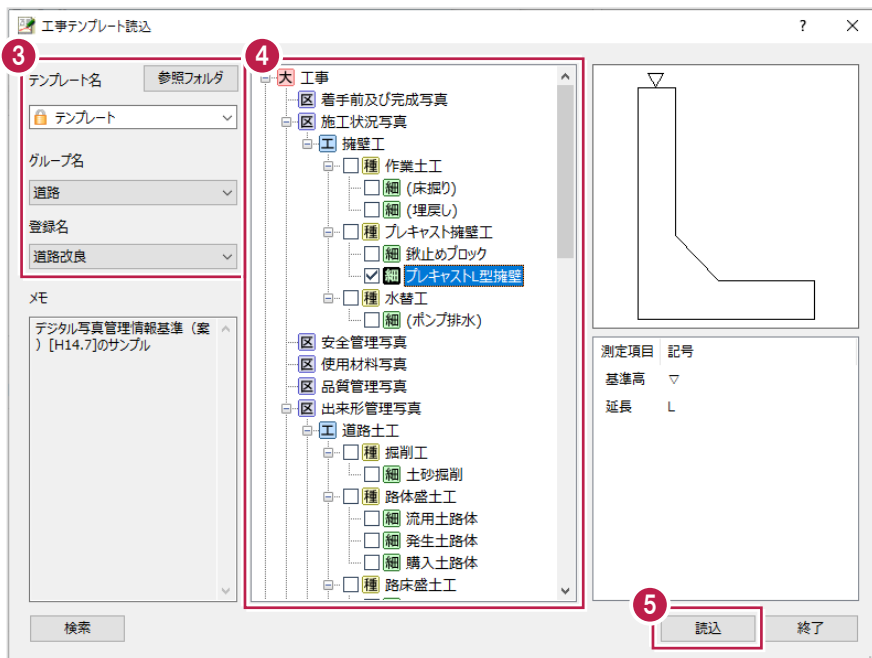


3. [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

4. 読み込む分類をオンにします。

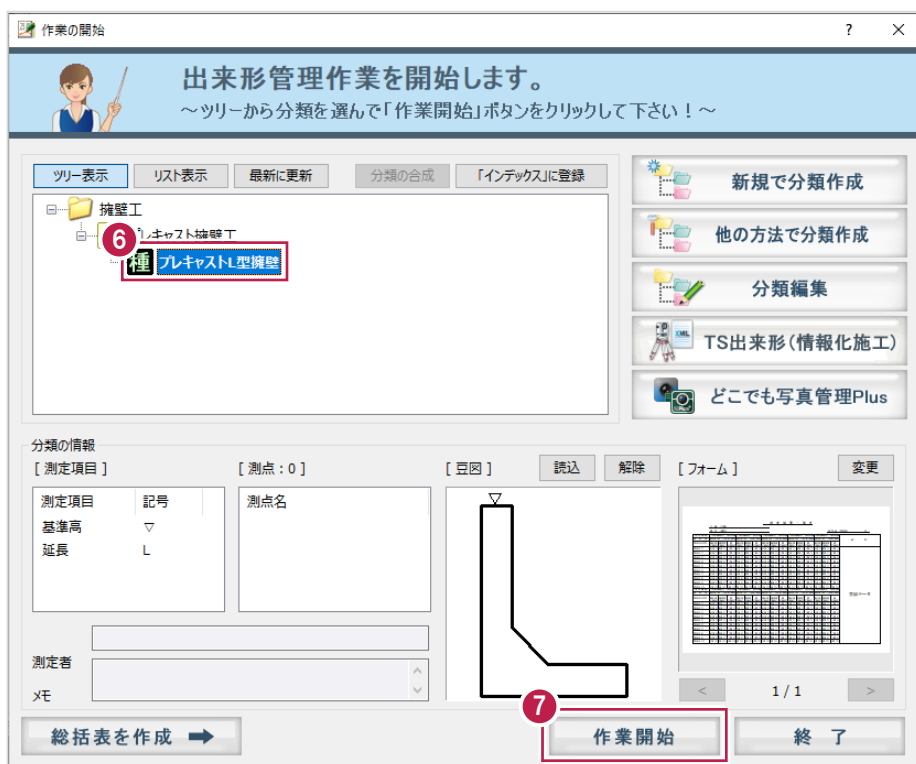
5. [読込] をクリックします。

分類が読み込まれます。



6. 分類を選択します。

7. [作業開始] をクリックします。



8. データ入力画面で測定項目・測点・設計値・規格値を設定します。

No.	測定名	設計値	実測値1	差1	規格値下限	規格値上限	測定	差1
1	No.0	120.000			-50	50		
2	No.1	120.000			-50	50		
3	No.2	120.000			-50	50		
4	No.3	120.000			-50	50		
5	No.4	120.000			-50	50		
6	No.5	120.000			-50	50		
7	No.6	120.000			-50	50		
8	No.7	120.000			-50	50		
9	No.8	120.000			-50	50		
10	No.9	120.000			-50	50		

補足

測定項目・規格値の設定

測定項目と規格値は「条件設定」で設定します。

選択	設計値の範囲	規格値	社内規格値
1	下限	上限	タイプ
2		なし	-50
3		50	成規値...
4		なし	

3

工種分類データをどこでも写真管理 Plus に転送する

工種分類データをスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

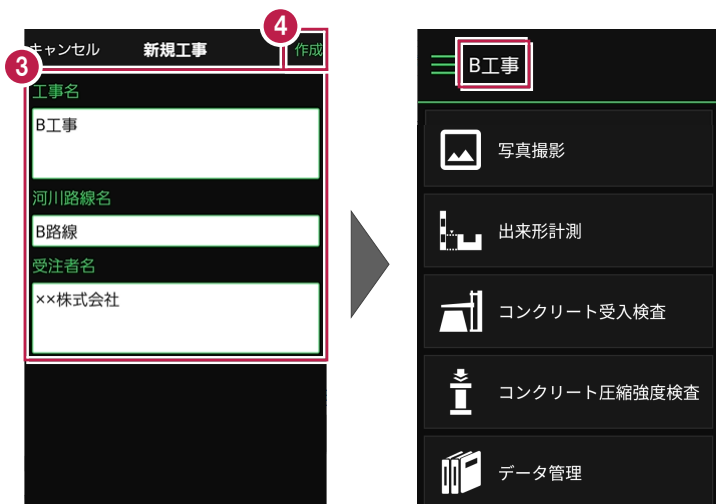
工事データを作成する

スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」で工種分類データの転送先となる工事データを作成します。

1. スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動し、メインメニュー画面のメニューボタンをタップします。
2. 「工事の新規作成」をタップします。



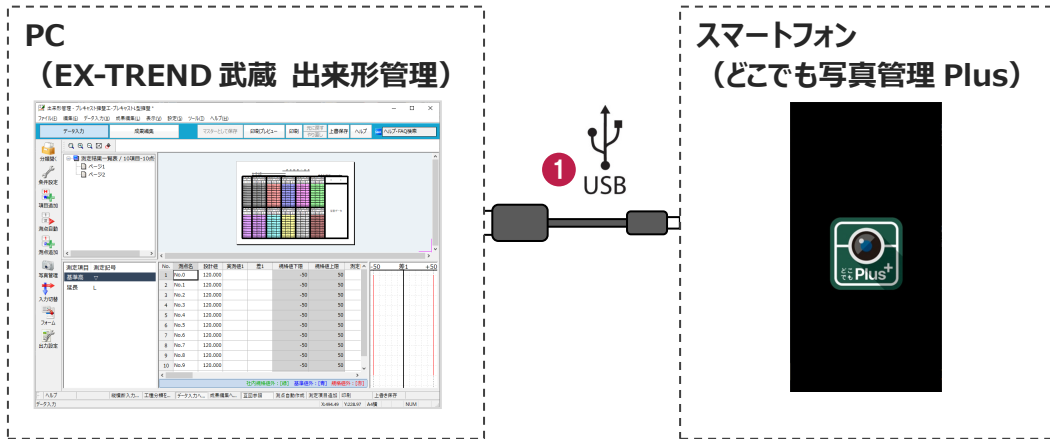
3. 「工事名」 「河川路線名」 「受注者名」を入力します。
4. 「作成」をタップします。
作成した工事が表示されます。



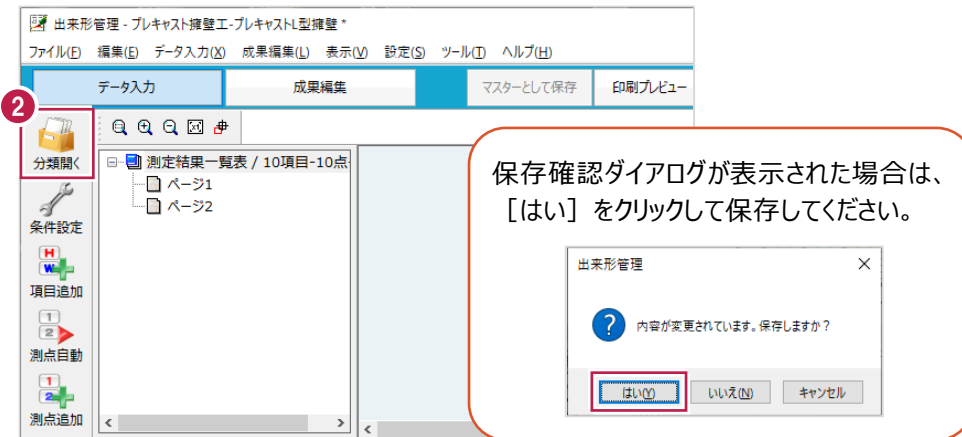
工種分類データを転送する

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送します。

1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



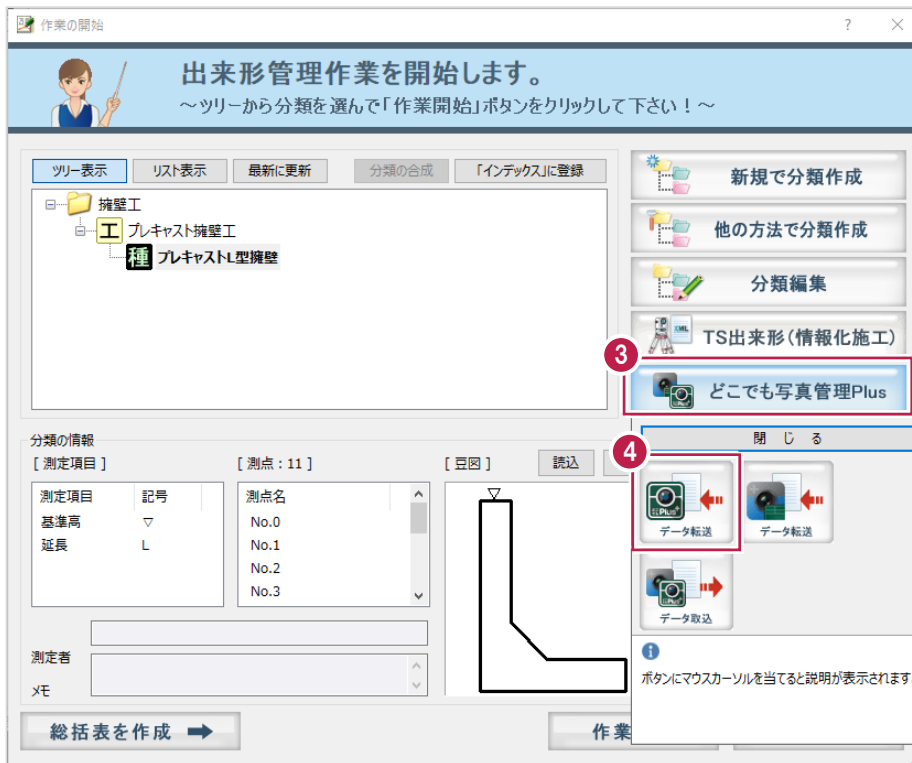
2. 出来形管理で [分類開く] をクリックします。



3. [どこでも写真管理Plus] をクリックします。

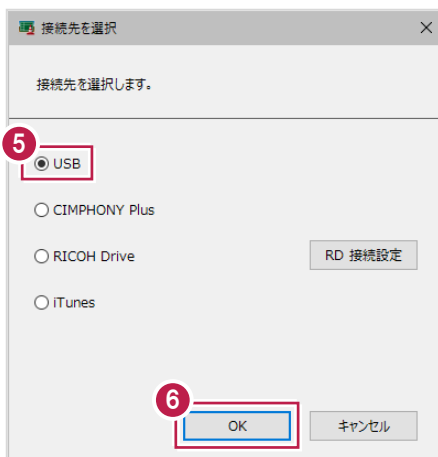
4. [データ転送] (左側) をクリックします。

※データを転送するには、「黑板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。



5. 接続先は [USB] を選択します。

6. [OK] をクリックします。



7. 転送する工種分類をオンにします。

8. [OK] をクリックします。



9. 豆図の文字、表示色を設定します。

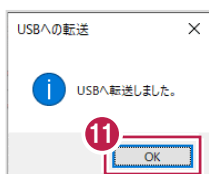
10. [OK] をクリックします。



11. [OK] をクリックします。

データが転送されます。

転送後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



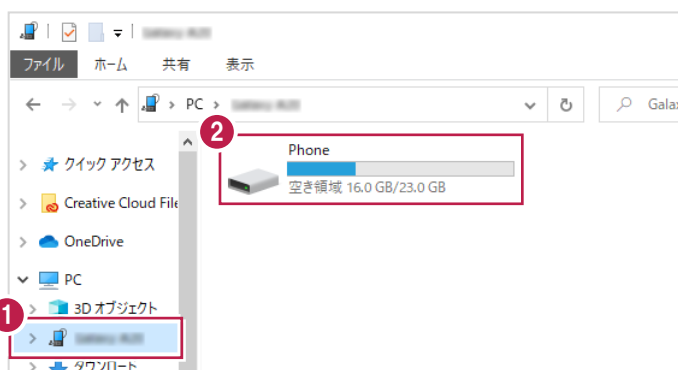
USB 接続でデータの転送が失敗する場合

USBで接続したスマートフォンへのデータの転送が失敗する場合は、以下を確認してください。

●PCのエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できますか？

正しくUSB接続されている場合は、PCのエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できます。
以下の操作で確認してください。

1. USB接続した状態でPCのエクスプローラーを開き、[PC] の下層にある「接続したスマートフォン名」をクリックします。
2. スマートフォン内の「Phone（内部ストレージ）」が表示されれば、正しく接続されています。



PCのエクスプローラーで

- ・接続したスマートフォン名が表示されない
- ・スマートフォン名をクリックしても何も表示されない
- ・エクスプローラーでは正常に見えるが、転送に失敗する

等の場合は、以下を確認してください。

●スマートフォンの電源は入っていますか？

スマートフォンの電源がオフになっていると転送できません。
電源を入れてください。

●スマートフォンが画面ロックされていませんか？

スマートフォンがパスワードやパターンなどで画面ロックされていると転送できません。
画面ロックを解除してください。

●正常なUSBケーブルで接続していますか？

「充電専用」のUSBケーブルでは転送できません。
また、USBケーブルの不具合の可能性もあるので、他のUSBケーブルで接続してください。

●どこでも写真管理Plusが起動していませんか？

スマートフォンで【どこでも写真管理Plus】が起動している場合は、終了してください。

●スマートフォンにSDカードが入っていませんか？

スマートフォンにSDカードが入っていると転送が失敗する場合があります。
SDカードのマウントを解除してください。

(次ページへ続きます)

● USB接続が【充電】モードになっていませんか？

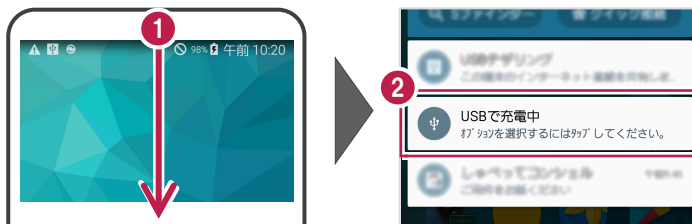
スマートフォン側のUSB接続が【充電】モードになっていると転送できません。

以下の操作でUSB接続を【メディアファイルを転送】（MTP接続）に変更してください。

1. USB接続した状態で、スマートフォンの画面上部から下に指をスライド（スワイプ）し、通知領域を表示します。

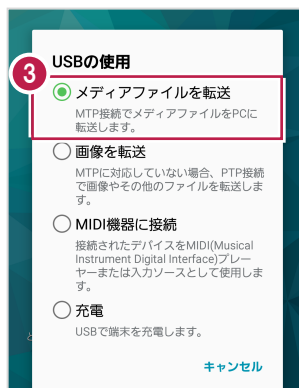
※通知領域のデザインや表示される内容は、スマートフォンにより異なる場合があります。

2. 【USBで充電中】をタップします。



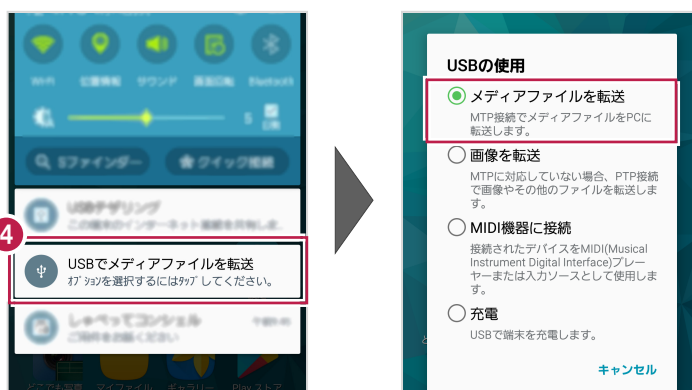
3. 【メディアファイルを転送】をタップします。（MTP接続にします。）

以上の操作で転送できるか試してください。



4. 【メディアファイルを転送】に変更しても転送できない場合は、

同操作で再度【メディアファイルを転送】（MTP接続）を指定し直してください。



4

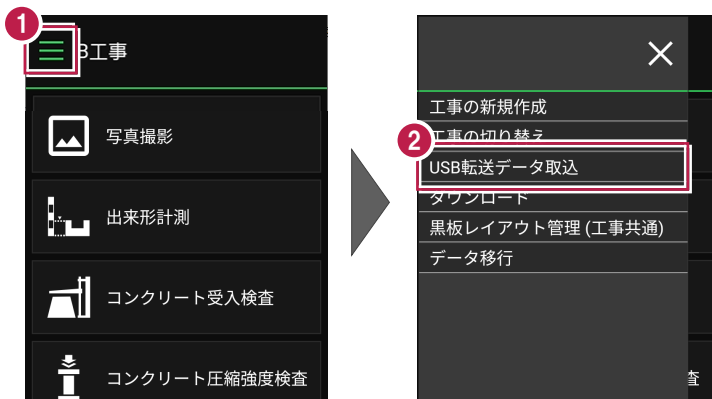
どこでも写真管理 Plus で出来形データを入力する

出来形管理から転送した工種分類を使用して、どこでも写真管理Plusで出来形データを入力します。

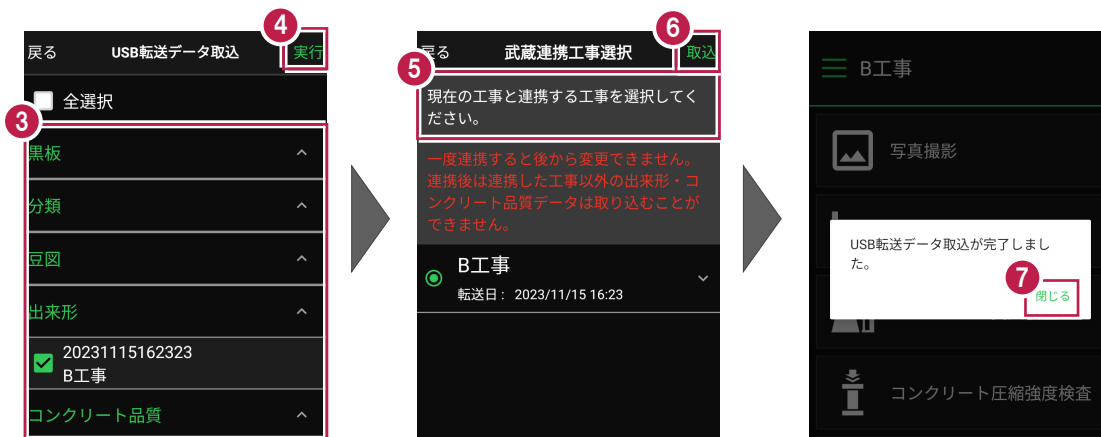
工種分類データを取り込む

どこでも写真管理Plusに出来形管理から転送した工種分類データを取り込みます。

1. どこでも写真管理Plusで作成した工事のメインメニュー画面を開き、メニューボタンをタップします。
2. [USB転送データ取込] をタップします。



3. 取り込むデータを選択します。
4. [実行] をタップします。
5. データの取り込み元工事を選択します。(初回のみ)
※取り込み元工事を選択し直すことはできないため、慎重に操作してください。
6. [取込] をタップします。
7. [閉じる] をタップします。
データが取り込まれます。



補足 +

取り込んだ工種分類・豆図データを確認する

取り込んだ工種分類・豆図データは「データ管理」の「出来形」【豆図】で確認・削除できます。



補足 +

黒板レイアウトを取り込む

黒板作成・連携ツールの「黒板レイアウト作成ツール」で作成した黒板レイアウトを取り込みます。

※RICOH Drive経由では取り込めません。

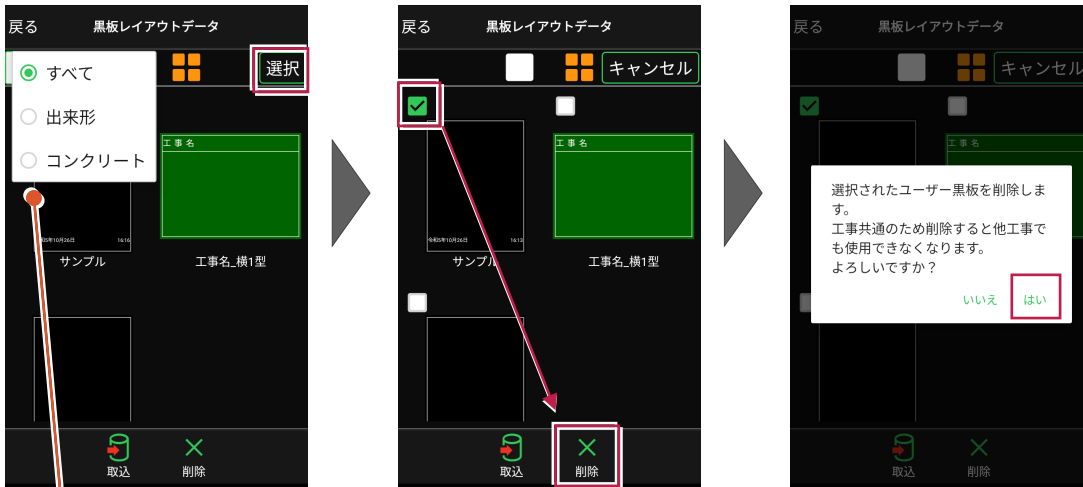


補足+

黒板レイアウトを削除する

黒板レイアウトデータの「選択」で黒板を選択し、不要な黒板レイアウトを削除できます。

※取り込んだ黒板レイアウトは、どこでも写真管理Plus内の他工事でも共通して使用できるため、削除すると、他工事で使用できなくなります。



すべて・出来形・コンクリートで表示の絞り込みができます。

補足+

「黒板」と「黒板レイアウト」の違い

- 黒板
 - ・「レイアウト+データ」
 - ・写真管理から連動させた分類情報や、撮影箇所、施工管理値など「情報を持った黒板レイアウト」を指します。
 - ・EX-TREND武蔵 写真管理と連携します。
 - ・メニューボタンの「USBデータ取込」「iTunes転送データ取込」「ダウンロード」で取り込めます。

工事名A工事		
工種	道路土工	サンプル
撮影月日	令和5年10月26日	
位置	A地点	
設計寸法	高さ(△)=120m	
実測寸法	高さ(△)=119.8m	
立会者	福井 太郎	

- 黒板レイアウト
 - ・「レイアウトのみ」
 - ・「情報を持たない黒板」を指します。
 - ・EX-TREND武蔵 出来形管理・コンクリート品質管理と連携します。
 - ・メニューボタンの「黒板レイアウト管理（工事共通）」でのみ取り込めます。

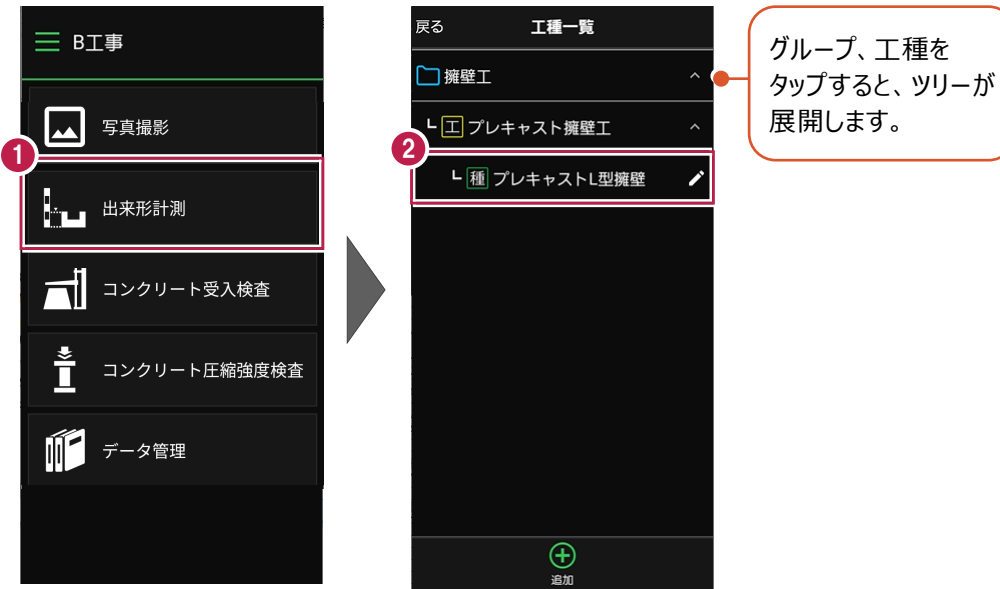
工事名(工事名)		
工種	(工種)	(備考)
撮影月日	(撮影日)	(豆図)
位置	(撮影箇所)	
設計寸法	(施工管理値_設計1)	
実測寸法	(施工管理値_実測1)	
立会者	(テキスト01)	
		(受注者名)

情報が
入っていません

実測値を入力する

実測値を入力します。

1. メインメニュー画面で「出来形計測」をタップします。
2. ツリーを展開して、種別をタップします。



3. 測定データをタップします。
4. 実測値を入力します。
5. 「OK」をタップして、計測画面に戻ります。

(計測画面、計測値入力画面の詳細はヘルプを参照してください。)



出来形写真を撮影する

出来形写真を撮影します。

1. 写真を撮影する測点のカメラボタンをタップします。

写真撮影画面が表示されます。



写真撮影画面を起動した際に、各種動作の許可を求めるメッセージが表示されることがあります。

メッセージが表示された場合は、**[許可]** をタップしてください。

2. 黒板をタップします。



エラーがある場合に表示されます。エラーマークをタップするとエラー情報が表示され、エラー内容をタップすると写真情報を編集できます。

黒板に計測データが反映されます。[工事名] [工種] [種別] には出来形管理で設定した工事名、工種、種別が表示されます。

3. 黒板編集画面で文字属性や写真情報を設定します。

(編集方法はヘルプを参照してください。)

4. [戻る] をタップして、写真撮影画面に戻ります。



文字属性モード/写真情報モードを切り替えて、黒板を編集します。

5. 撮影ボタンをタップします。

(写真撮影画面の詳細はヘルプを参照してください。)



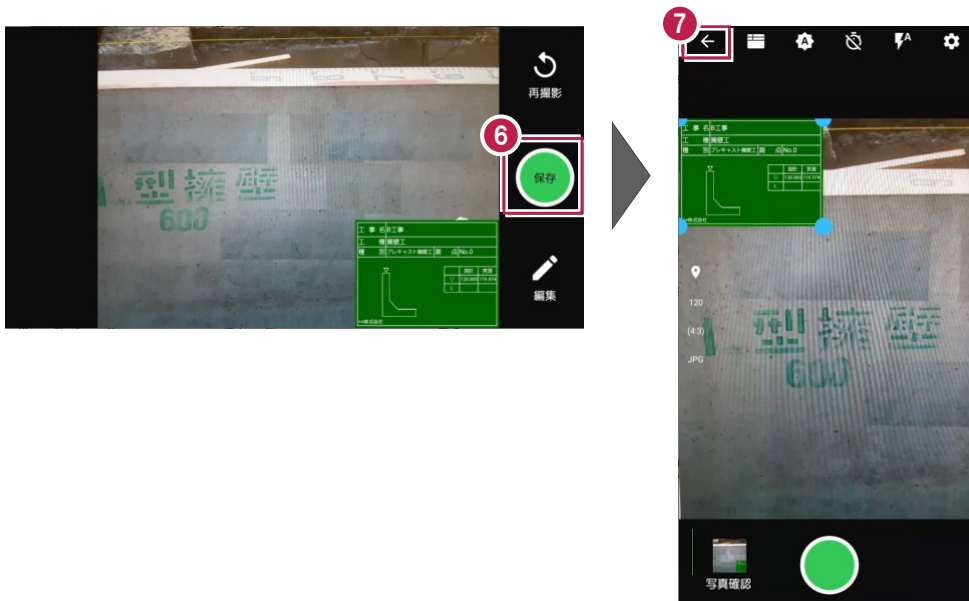
初期設定で端末を回転すると、写真撮影画面と撮影した写真も同じ向きになります。

黒板をドラッグすると、移動できます。初期設定で黒板四隅のトラッカーをドラッグすると、拡大・縮小できます。

6. [保存] をタップします。

写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。

7. 戻るボタンをタップして、計測画面に戻ります。



8. 同様に、他の測点の実測値を入力して出来形写真を撮影します。

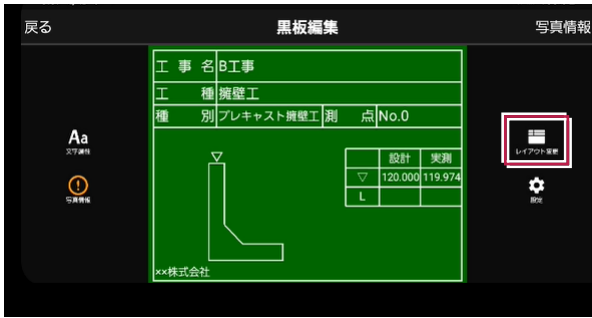
9. [戻る] をタップして、工種一覧画面に戻ります。

10. [戻る] をタップして、メインメニュー画面に戻ります。



黒板レイアウトを変更する

黒板レイアウトを変更したい場合は、黒板編集画面の「レイアウト変更」からレイアウトを選択してください。



5

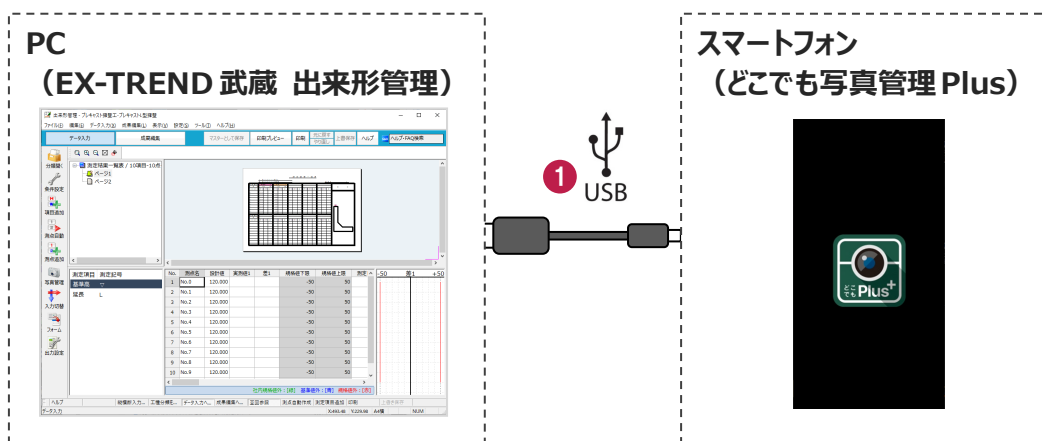
出来形データを出来形管理に取り込む

EX-TREND 武蔵 出来形管理に出来形データを取り込みます。

出来形データを出力する

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、どこでも写真管理Plusから出来形データを出力します。

1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



2. どこでも写真管理Plusのメインメニュー画面で [データ管理] をタップします。
3. [出来形] をタップします。
4. [選択] をタップします。



5. 出力する出来形データのチェックをオンにします。

6. [出力] をタップします。

7. [USB] をタップします。

8. [閉じる] をタップします。

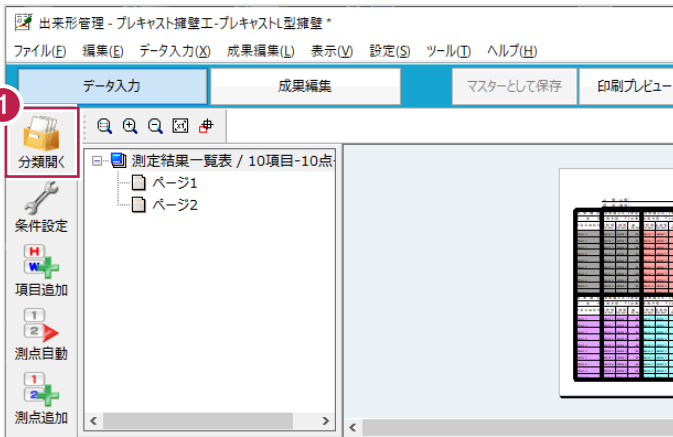
データが出力されます。



出来形データを取り込む

EX-TREND武蔵 出来形管理に出来形データを取り込みます。

1. 出来形管理で [分類開く] をクリックします。



2. [どこでも写真管理Plus] をクリックします。

3. [データ取込] をクリックします。

※データを取り込むには、「黑板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。



4. 接続先は [USB] を選択します。

5. [OK] をクリックします。



6. 取り込む工種分類をオンにします。

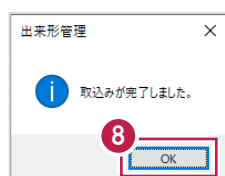
7. [OK] をクリックします。



8. [OK] をクリックします。

データが取り込まれます。

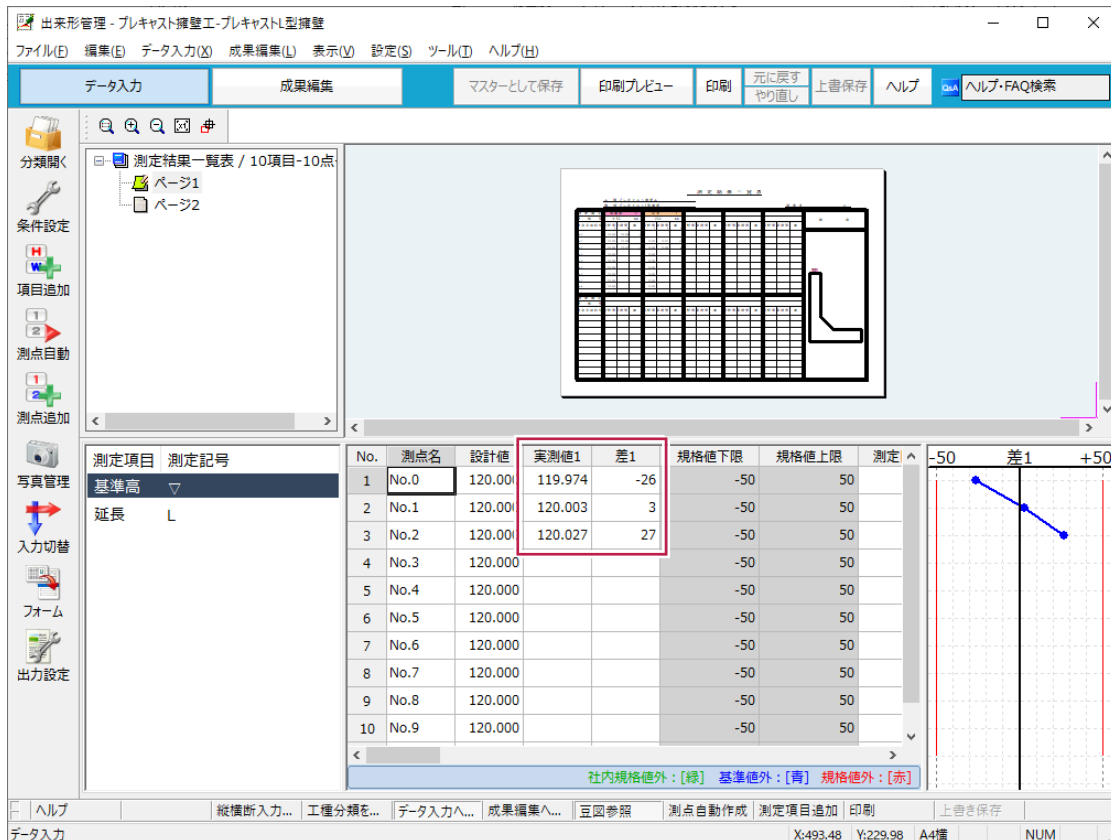
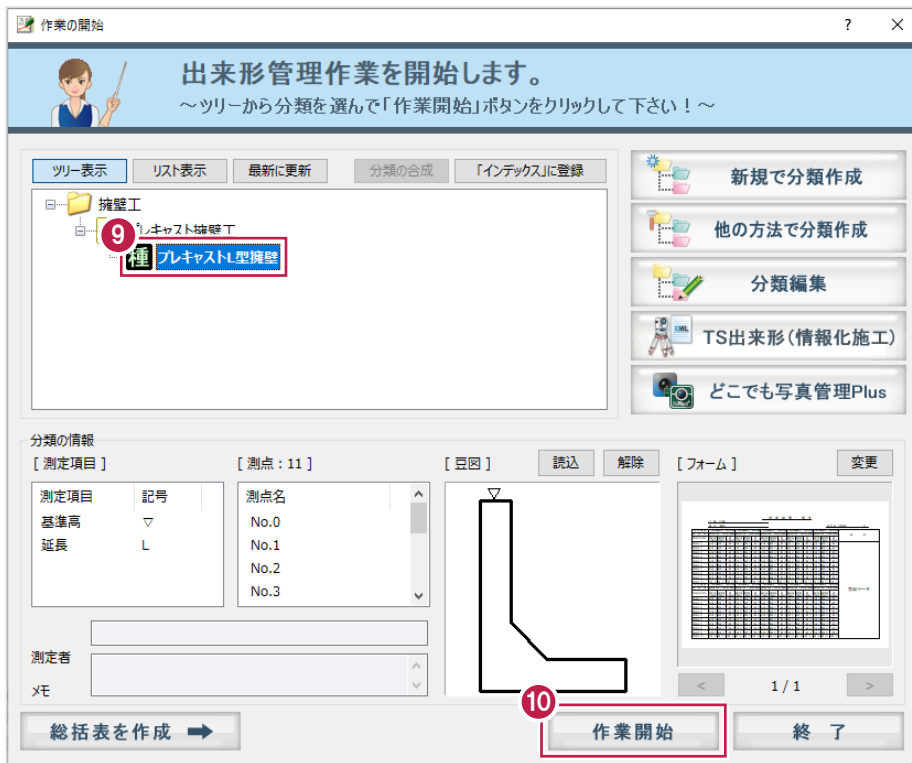
取り込み後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



9. 分類を選択します。

10. [作業開始] をクリックします。

出来形データが取り込まれていることが確認できます。



6

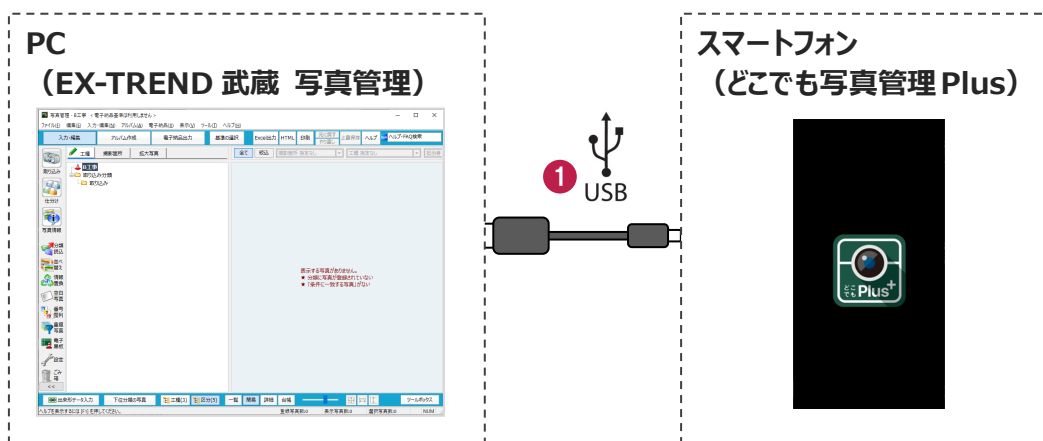
出来形写真を写真管理に取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理に出来形写真を取り込みます。

写真を取り込む

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、EX-TREND武蔵 写真管理に写真を取り込みます。

1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。

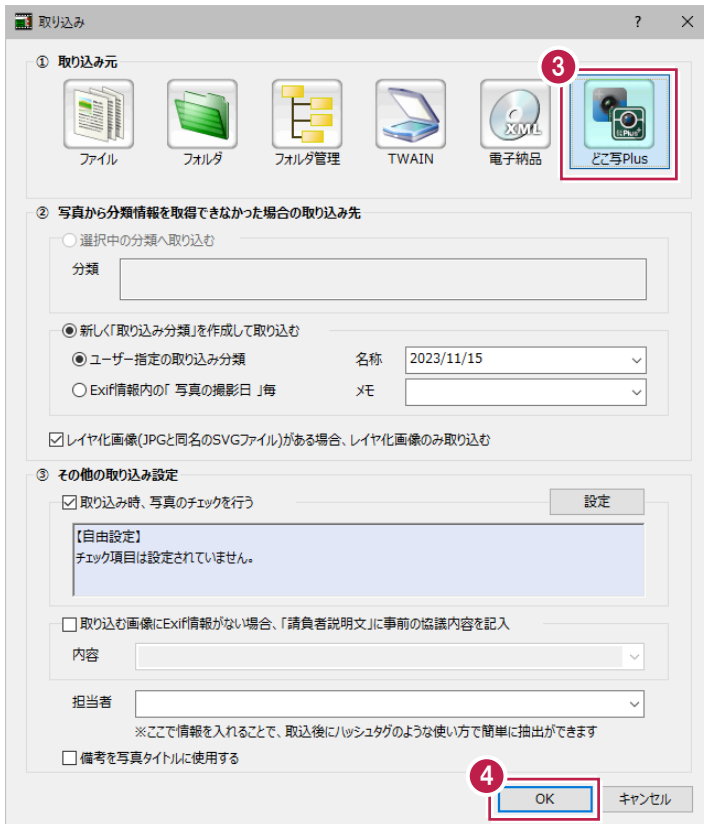


2. 写真管理で [取り込み] をクリックします。



3. [どこ写Plus] を選択します。

4. [OK] をクリックします。



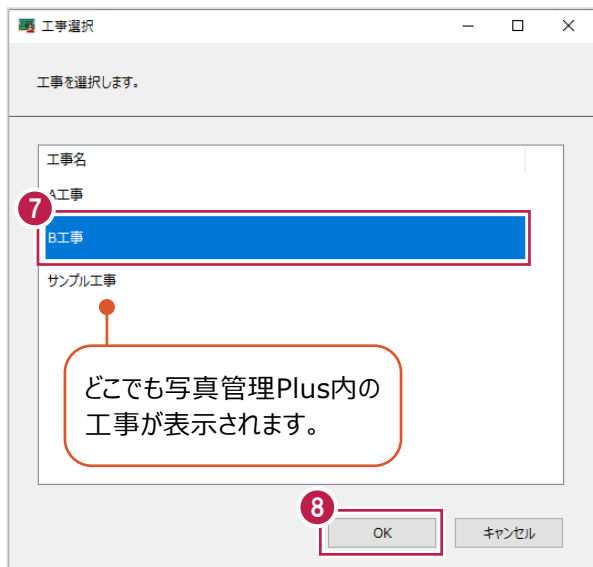
5. 接続先は [USB] を選択します。

6. [OK] をクリックします。



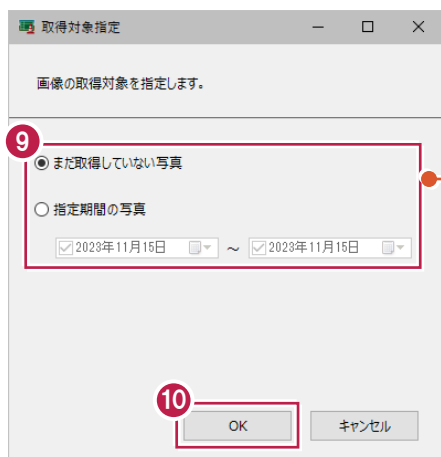
7. 写真を取り込む工事を選択します。

8. [OK] をクリックします。



9. 画像の取得対象を選択します。

10. [OK] をクリックします。



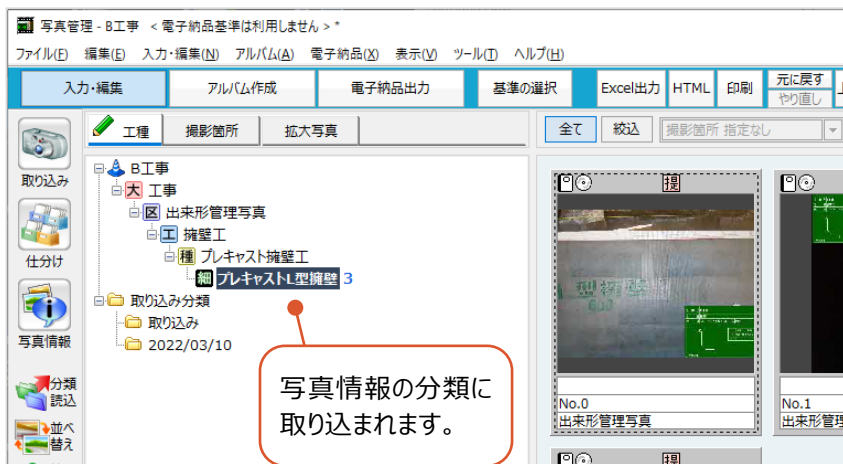
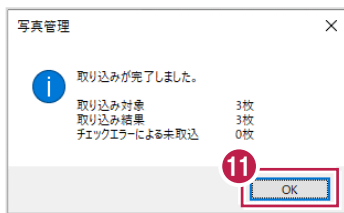
【まだ取得していない写真】
一度も取得していない写真のみ取り込みます。

【指定期間の写真】
指定した期間内の写真をすべて取り込みます。

11. [OK] をクリックします。

写真が取り込まれます。

取り込み後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



補足

写真管理とどこでも写真管理 Plus の工事情報が異なる場合

写真管理とどこでも写真管理Plusの工事名称や受注者名が異なる場合は、工事情報の選択ダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。

